

一般質問通告書

平成 年 月 日 提出

嵐山町議会議長 長島邦夫 様	議席番号 13	氏 名 渋谷登美子 印	受付番号
-------------------	------------	----------------	------

下記のとおり質問したいので通告します。

	質問事項	質 問 要 旨	答弁者
3	ICTによるネットワーク確立 (答弁書不要)	<p>等の複合施設が必要と考える。高度医療からの退院後の地域の医療と福祉のかかわりで日常生活を作り、在宅の看取り環境を整え、地域医療の崩壊を防ぐ方向を求める。</p> <p>(3)訪問看護ステーションのある町内の病院の移転計画を聞いている。今まであった医療機関の移転への不安もあるが、町内医療機関の連携で今後、在宅医療で、高齢者の生活を支える地域医療を目指す方向は。</p> <p>(1)嵐山町では、ICTを活用した町民との意見交換、情報交換がない。SNSによる人のつながりの広がりやコミュニケーションのあり方に革新をもたらしているが、嵐山町は、その革新につながっておらず、情報が、中央集権的で、町からの一方的な情報提供である。EU5カ国で、スマホの普及率は55%、日本でも50%を超える見通しである。そのような状況にありながら、町民からの情報提供、情報交換できるシステムの開発がない。</p> <p>団塊世代以後の高齢者の生活にはICTが不可欠であり、見守り、健康管理等への活用、教育現場の管理、学校教育への応用等、生産者と消費者の結びつきなどの仕組みづくりが必要である。最初に町民との情報交換等で嵐山町のネットワーク確立が必要であるが、いつから始めるのか。</p>	町長